

小松市立中海中学校 学校経営ビジョン

1 小松市教育理念

「学びの道しるべ」



2 学校経営計画

小松市立中海中学校
校長 松本 香薫

1 教育理念

中海中学校の校風（誇・徳・体）を継承し、建学の精神（創造・実践・不屈・信頼）を培うため、新進気鋭の精神に富み、人間性と規律を重んじ、思いやりと正義の心を持った中海中生、社会人を育成する。そのために、教職員一人一人が情熱と使命感、探求心、創造力、挑戦心を持ち、共通理解、共通行動の指針のもと、一体感のある学校づくり、活力ある学校づくりをする。

2 教育目標

全教育活動を通して心を育て、人格の完成を目指した教育を基本に、自主的で創造的な高い知性と人間らしい思いやりのある豊かな情操を培い、心身ともに健康な実践力のある生徒を育成する。

～めざす生徒像～

- * 創意工夫し、よりよい生き方をめざす生徒 (創造)
(社会の変化に柔軟に対応し、豊かな社会生活を営む生きる力を育てる)
- * 自ら求め、自ら進んで学ぶ生徒 (実践)
(自ら求め、自ら進んで学ぶ実践力、気概を育てる)
- * 困難を乗り越え、粘り強くやり抜く生徒 (不屈)
(困難を乗り越える知力と気力・体力を育てる)
- * 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒 (信頼)
(相互に敬愛する心、思いやりの心を持ち、信頼しあえる人間関係を育てる)

～めざす学校像～

- (1) 生徒が学ぶ楽しさや喜びを感じることができる学校
- (2) 生徒や職員が安心して生活でき、笑顔と活気があふれる学校
- (3) 教職員が目標を一つにし、共通理解・共通行動をとれる学校
- (4) 保護者や地域から信頼され、協力を得られる学校

～めざす教師像～

- (1) 教育に対する使命感を持ち、自ら学び続ける教師
- (2) 生徒・保護者一人一人の思いに寄り添い、心を通い合わせ、信頼される教師
- (3) 服務規律を遵守し、生徒が理想とする一番身近な大人のモデルとなる教師

3 重点目標と具体的な手立て

(1) 組織的な学校運営

- ①職員一人一人が組織の一員として学校運営参画意識を持ち、チームで業務を遂行する。
- ②目標の実現に向けて、全職員が共通行動をとれるよう共通理解を図る。
- ③報告・連絡・相談を徹底し、課題に対して組織的に対応する。
- ④ワークライフバランスを意識した働き方改革（業務改善・時間外勤務削減）を進める。

(2) **知** 確かな学力の育成

- ①わかる授業、生徒主体の授業を推進し、共に教師の指導力を向上させる。
- ②授業中の学習規律を徹底し、集団での学びを充実させ、生徒に学ぶ楽しさを実感させる。
- ③学校力向上ロードマップを活用し、学力向上の体制を確立する。
- ④ICT 機器を効果的に活用し、基礎学力の定着と多様な学びの質の向上を図る。

(3) **徳** 豊かな心・人間性の育成

- ①生徒指導の4つの視点(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成)を意識した取組を進める。
- ②授業や学校行事、生徒会活動、ボランティア活動等を通して、生徒が自己有用感や達成感が感じられるように積極的生徒指導を推進する。
- ③温かい人間関係の中で、互いに認め合い、励まし合い、学び合う学級・学年集団作りに取り組む。
- ④道徳の授業の充実を図り、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- ⑤SDG s の取り組みを推進し、地域の伝統文化を理解し、守り、後世に伝えるための意欲や態度を育てる。

(4) **体** たくましく健やかな身体の育成

- ①教科体育・体育的行事・部活動において、体力を高め、健康でたくましい身体を育む。
- ②生徒の不安や悩みを迅速に把握し解消できるように、相談体制や環境を充実させ、個に応じた配慮を工夫する。
- ③生徒や教職員の安全に関する意識を高め、危機対応力の向上を図る。

(5) 家庭・地域との連携

- ①地域や家庭と連携し、地域社会の一員としての態度の育成やキャリア教育の充実を図る。
- ②各種たよりやホームページ等を通して、保護者や地域への情報発信に努める。